



株式会社 **オリエンタルコンサルタンツ**

令和 8 年 10 月 6 日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

DX による復興まちづくりを推進する共同研究「夜ノ森プロジェクト」 AI 映像解析技術を活用した「桜まつり開催時の賑わい計測結果」等を富岡町に報告 しました。

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（代表取締役社長：野崎秀則）は、国立大学法人東北大学災害科学国際研究所（所長：越村俊一）、株式会社ふたば（代表取締役：遠藤秀文）と共同して、福島県富岡町夜の森地区を対象に、住民の帰還促進や移住・定住化の促進、関係・交流人口の獲得・拡大による地域活性化を目的に、DX 技術を活用した復興まちづくりを推進する研究を令和 8 年 2 月より開始しています。

3 月 26 日（木）に福島県富岡町にて、国立大学法人東北大学災害科学国際研究所、(株)ふたばとともに開催したキックオフミーティング時の活動計画に基づき、4 月 4 日（土）～5 日（日）の「夜の森桜まつり 2026」時に実施した賑わい計測や人流解析結果等を、10 月 2 日（金）、富岡町役場へ報告しました。

賑わい計測にあたっては、これまで定量的な解析が困難でしたが、Intelligence Design 株式会社（代表取締役：中澤拓二）と共同し、AI 映像解析技術を活用することによって、来街者の滞留時間やグループ活動、更に来街者の具体の行動（会話、写真撮影等）を定量化・可視化しました。

また、今回の計測結果等を踏まえ、今後の検討課題として、夜ノ森の魅力向上に向けて、「訪れる魅力を磨き、暮らす魅力へ」を視点に、以下に関し意見交換しました。

- ① 「拠点をつなぎ、夜ノ森の魅力を面へ広げる」：回遊ネットワークの形成
- ② 「日常の居心地が、まちへの愛着を育む」：桜通りの魅力向上
- ③ 「祭りの来訪を、まちを巡る楽しみと再訪へつなぐ」：祭りを起点とした地域回遊

今後は、引き続き、3 か年の研究開発計画に基づく取組みを進めるとともに、富岡町役場や地域住民との意見交換等を通じながら、これら検討課題を具体化し、インフラ整備のあり方等について提案していく予定です。

なお、共同研究の期間は、2029 年 1 月までの 3 年間を予定しています。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

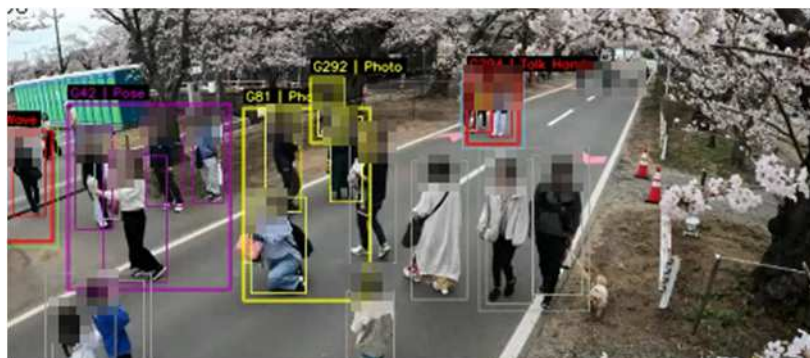
株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551、FAX: 03-6311-8011

URL: <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤、日原、丸山、門司

参考資料



資料：Intelligence Design 株式会社の AI 解析サービス「IDEA」

写真-1: AI 映像解析技術を活用した賑わい計測



(左列：株式会社ふたば、Web モニター：東北大学今村副学長、正面：富岡町地域創生課・企画課、右列：株式会社オリエンタルコンサルタンツ、東北大学)

写真-2: 富岡町への報告